



1. 美国中学校吹奏楽部の演奏に会場からは大きな手拍子が送られた
2. 戸川よし乃さんはプロの歌声で聴衆を魅了
3. laufen が今年も開催予定の air sound of shakotan music square を告知
4. 町内外から駆けつけた来場者で会場は大盛況
5. 正調練場音頭保存会が伝統芸能を披露
6. 今年も来場者の期待に応えた積丹の“ウニ”



祭り



初夏の一大イベントが開催！
「食」と「ステージ」を旨目に今年も大勢の来場者が

6月29日、今回で第9回目となる初夏の大イベント「積丹ソーラン味覚祭り」が開催されました。

会場では今年も町内の出店者により、自慢の鮮魚類や鮮魚加工品、毎年行列を成して来場者が買い求める直径150cmの大鍋で調理されるジャンボ浜鍋などが販売されたほか、姉妹都市である高知県香美市からの出展ブースでは名物の鰹のたたきやゆず製品が販売され、目移りする程の「食」に、この日町内外から訪れた来場者は顔をほころばせていました。

一方、ステージでは、美国中学校吹奏楽部や陸上自衛隊第11音楽隊などによる演奏、YOSAKOIソーランの名門2チームによる演舞、正調練場音頭保存会による伝統芸能などが来場者の注目を集めたほか、毎年恒例のビンゴ大会や餅まき、今回で2回目の開催となるウニ剥きコンテストなどのプログラムが大いに会場を沸かせ、最後は夜空を彩る花火が盛況となった祭りの終わりを告げました。

一方、会場に隣接した美国漁港ではB&G財団やウォーターセーフティニッポンなど、関係団体の協力



9



8



7



11



10

- 7. 美国町出身の鎌田結子さんは「シャコタンブルー」など町にちなんだ曲で会場を沸かせた
- 8. 姉妹都市の高知県香美市から参加した山本真也さんは「生で見る YOSAKOI ソーランの迫力やプリプリとした生ウニの味に驚いた。」と感想を語った
- 9. ウニ剥きコンテストに家族で初出場し、見事優勝を飾った小樽市の田中暁生さんは「専用の道具を使用してウニを剥くのは初めての経験、家族で参加でき、良い思い出になった。」と話した
- 10. 姉妹都市交流の発展に貢献された香美市の濱田賢二さんの来町50回を祝い、記念品が贈呈された
- 11. 会場の外では神威岬灯台の一般開放も行われた
- 12. YOSAKOI ソーラン出場 22 回を誇る名門平岸天神
- 13. 今年準 YOSAKOI ソーラン大賞を受賞した北海道大学“縁”が若さ溢れる演舞を見せつけた

第9回

積丹ソーラン味覚



13



12

とすることを期待しています。

機会となる「積丹ソーラン味覚祭り」。記念すべき第10回が再び盛り

私達の誇る積丹ブランドの「食」

や「観光」を町外へPRする絶好の

今や3万人にも迫る勢いです。

第5回の「ドンと来い積丹味覚祭り」では過去最高となる1万5千人が来場したという記録が残っていますが、昨年度の第8回「積丹ソーラン味覚祭り」では2万7千人が来場しており、年々増えている来場者は

より魅力的なイベントとするべく平成18年度に初開催されました。

来年第10回目の開催となる「積丹ソーラン味覚祭り」は、それまで開催されていた「ドンと来い積丹味覚祭り」（開催6回）と「お神威ソーラン祭り」（開催39回）を統合し、

「積丹ブランド」で年々増える来場者

のものと「水の事故ゼロ運動」が開催され、参加者は水難事故への対処法を学んだほか、小樽海上保安部による巡視艇「すずかぜ」の体験クルーズも実施され、参加者は海上で気持ちの良い潮風を全身に受けていました。また、神威岬では灯台の一般開放が行われ、訪れた方々は灯台からの美しい眺めに歓声を上げていました。

来年は第10回目の開催！